



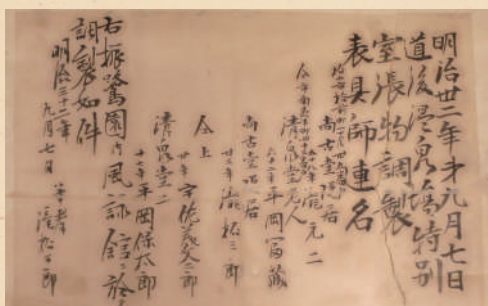
皇室専用浴室を有する 又新殿・霊の湯棟



詳しい作業の様子は動画で公開しています



先代からのメッセージ

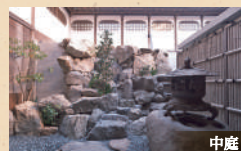


玉座の間の障壁画を解体したところ、下紙から製作に携わった表具師の名前が書かれた紙が見つかりました。振鷲園内の風詠館という建物で署名が行われたことがわかりました。

保存修理工事が完了した又新殿



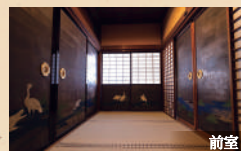
御成門



中庭



御居間と玉座の間



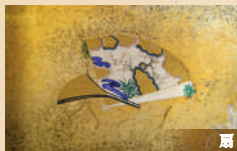
前室



洞の間



白鷺



扇



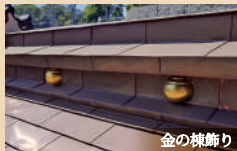
花



鳳凰



金の釘隠し



金の棟飾り



金の引手金物



湯釜紹介

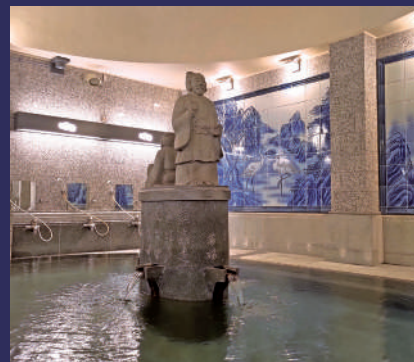
はじめは奈良時代から使用されていたと伝わる道後温泉の石製の湯釜は他の温泉地では見られない独特の趣があり、道後温泉の魅力の一つです。現存する13の湯釜について、歴史的価値などを紹介していきます。



第6回

霊の湯 湯釜(女子浴室)

昭和29年(1954)に「神の湯・女湯」の湯釜として設置されました。湯釜(長径75cm、短径45cm、高さ230cm)は、楕円形で湯口を四方に持っており、設置当時は千人風呂方式と呼ばれていました。上部には東向きに大国主命、西向きに少彦名命の像が設けられています。湯釜のデザインは日本画家の長谷川竹友が行い、彫刻は香川県屋島の藤村嘉六が行いました。設置当時は壁面に洋画家の古茂田公雄がデザインした白鷺を表現したモザイクタイルが張られていました。湯釜の北側の浴槽の底には「神の湯・男子浴室(東側)」と同様の源泉を表す刻印を刻みました。この源泉跡は今回の保存修理工事中に見つかったものです。「霊の湯・女子浴室」に御入浴の際は是非御覧ください。



■補助事業名／(重文)道後温泉本館神の湯本館ほか7棟建造物保存修理事業

■補助事業費／国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

■施工者／門屋組・成武建設・富士造型特定建設工事共同企業体 ■監理者／文化財建造物保存技術協会



道後温泉本館は、霊の湯で入浴できます。

※神の湯(男・女)、2階・3階休憩室は休止しています。
※営業時間や入浴料など、詳しくは「道後温泉公式サイト」をご覧ください。

■お問い合わせ先 道後温泉事務所 TEL.089-921-5141
〒790-0842 松山市道後湯之町4番30号



[道後温泉公式サイト]
<https://dogo.jp>

第6号 令和4年(2022年)3月



明治

大正

昭和

平成

令和



愛媛県松山

道後温泉

歴史をつなぐ

未来へのこす

重要文化財 道後温泉本館 保存修理工事

道後温泉本館の紹介

修理中



又新殿・霊の湯棟

明治32年(1899)竣工。
日本唯一の皇室専用浴室のある又新殿・霊の湯棟は、銅板葺及び檜皮葺の木造3階建て、正面(東面)に御成門があります。
(※1階で入浴できます)

浴室のみ
営業中



浴室のみ
営業中

修理中



玄関棟

大正13年(1924)竣工。
神の湯、霊の湯、養生湯の各浴室に入浴できるようにするため出札口として建設されました。
昭和10年(1935)の神の湯を曳家した時に現在の玄関棟としての役割に変わりました。

修理中



明治27年(1894)の改築以降、大正、昭和、平成、そして令和、時代とともに輝き続ける道後温泉本館。営業しながらの重要文化財の公衆浴場の保存修理工事は、日本初の取組です。

神の湯本館棟

明治27年(1894)竣工。
棧瓦及び銅板葺の木造3階建て、1階に浴場、2階・3階を休憩室とし、入母屋造の大屋根の上に塔屋を設けています。

南棟

大正13年(1924)竣工。
養生湯として建築され、神の湯本館と同じく、棧瓦及び銅板葺。修理前は、神の湯女子浴室として使用していました。
(※1階で入浴できます)

素屋根工事

本館保存修理工事(後期)の素屋根は、全体の長さで南北:約34m、東西:約30m、高さ:約20mです。前期工事の約2倍の16個のフレーム(鉄骨)で構成されています。



鉄骨フレーム東側解体



鉄骨フレーム西側へスライド



テント膜を設置



仮囲いを設置



夜間作業の様子



【火の鳥ラッピングアートREBORNプロジェクト】

心地よい秋晴れの朝、約2年間、道後温泉本館を保護していた鮮やかな「火の鳥」のラッピングアートはテントへと姿を変え小学校の運動会でREBORNしました。

又新殿の檜皮葺



材料となる檜の皮と竹釘



修理前



土台となる蛇腹を設置します



檜皮を竹釘で打ちつけます



完成

人がつなぐ 担当者の声【檜皮葺職人】

Q. 又新殿の檜皮葺の特徴は?

A. 檜皮葺は美しい曲線美を出せる植物性の屋根の施工方法です。自然の檜の皮を手作業にて材料を拵え、その材料で屋根を葺きますが、葺斑を起こさないように葺く難しさがあります。又新殿の檜皮葺は約120年間葺替えられていないため、その貴重な檜皮葺を残しながらも新たな檜皮葺を葺替える難しさがありました。



詳しい作業の様子は動画で公開しています

田中社株式会社
檜皮葺職人
寒河江 清人さん



修理前



修理後

道後温泉本館保存修理工事スケジュール

平成30年度～令和6年度(予定)

	平成30年度(2018)	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)
素屋根工事		組立	前期工事	移動	後期工事		解体
神の湯本館棟	入口切替			内部・屋根解体調査	屋根葺替・内部組立		
又新殿・霊の湯棟		内部・屋根解体調査	屋根葺替・内部組立				
南棟		内部・屋根解体調査	屋根葺替・内部組立	内部・屋根解体調査	屋根葺替・内部組立		
玄関棟		内部解体調査			屋根解体調査	屋根葺替・内部組立	
事務所棟				内部・屋根解体調査	屋根葺替・内部組立		
便所棟		解体	改築				
本館周辺整備	埋設物調査		塀復旧				石柵復旧

★現在 R4.3月時点

入口切替予定★

12月未完了予定